

# 祝 松本市成人式



梓川地区から参加の新成人の皆さん



## 晴れやかに！成人式

一月十一日、木枯らしが吹く寒い日となりましたが、そんな寒さも吹き飛ばす程の新成人の熱気にあふれた市総合体育館では、平成二十七年松本市成人式が行われました。

振袖や袴、スーツに身を包んだ一八四四人がこの日、成人式に参加しました。県外から成人式に参加するために帰省した方もあり、久しぶりの友達との再会を喜び記念撮影する姿があちこちでみられました。

菅谷市長は、松本山雅FC



がJ-1に昇格したことに触れ、「新成人の皆様もそれぞれの頂点を目指して努力を続けてほしい」とお祝いとお励みの言葉を送っていました。

新成人の生まれた平成七年には阪神・淡路大震災など大きな災害がありました。

二十年という節目の年齢を迎え、角影台の赤羽咲季さんは「優しく、社会人として役に立つように頑張りたい」と抱負を話していました。式に参加している若者を取材し、これからの社会を背負っていく人として希望に満ちた姿に、頼もしさと期待を感じました。

## しめ縄づくり

上角町会では、毎年恒例行事のしめ縄づくりが十二月二十一日に行われました。

町会の方を講師に、小学生十三人が集落センターに集まりました。初めに、昔の人がしめ縄に込めた思いや意味などを学び、その後しめ縄づくりが始まりました。今回は松本平でよく作られているやり方で制作しました。

実際に作業に入ると難しい



ようで、高学年児童でも思い通りに出来なく、講師の方を始め保護者の方に手伝ってもらい、何とか一人五本のしめ縄を完成させました。初めてしめ縄づくりに挑戦した小学一年の女子児童は、「むずかしかったけど、楽しかった」と喜んでいました。また、高学年の男子児童は、「去年より上手に出来るようになった、お正月に飾るのが楽しみです」とコツをつかんだ様子でした。一緒に八王子社に飾るしめ縄を作っている氏子の方も最初は苦労していました。その後の片付けも、子どもと大人で協力して出来ました。そして子どもたちの楽しみのジュースとお菓子のお茶会が行われ、楽しく食べて飲んで遊び、解散となりました。



# 活動の成果発表

## 第三十回梓川文化祭

第三十回梓川文化祭が開催され、美術展はアカデミア館（十一月十二日～十六日）で、芸能祭・音楽祭は梓川公民館・老人福祉センター（十二月七日）で開催されました。美術展では日頃公民館をはじめ地区内で活動する皆さんの木彫り・写真・絵画・書道・短歌・

展示作品の中にはどうやって作られているのだろうと思わず近づいてしまう作品があり、日頃の慌ただしさを忘れてささてくれる癒しの時間を過ごすことができました。

### 美術展 力作ぞろい！



### 楽しい催し!!



(公財)日本体育協会 公認スポーツ指導者等表彰

梓川バドミントン協会  
増澤 金子さん(氷室)が受賞



十二月十三日、東京都で(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰の表彰式が行われ、バドミントンの指導・普及など長年の功績が評価され表彰されました。  
増澤さんは「皆さんのおかげで名誉ある賞をいただくことができました」と話していました。

### 音楽祭

熱演  
熱唱!

### 芸能祭



### 雑記帳

近年は、度重なる自然災害に心を痛めています。

私たちの身近でも、戦後最悪の火山災害となった御獄山(長野・岐阜境、三〇六七メートル)の噴火がありました。

この噴火では五七人が死亡、六人が行方不明となっています。

わが家でも義父が先達となり御獄山登山を毎年行っています。わが家の子どもも保育園児の頃から励まされ、褒められながら岩路を登り頂上で歓喜の声を上げたものです。その場所、八丁ダルミで大勢の方々が犠牲になりました。ニュースの折々に家中で、生存者の無事を祈りました。厳しい環境の中救助捜索に従事してくれた陸上自衛隊、消防、警察の方々には頭の下がる思いです。

噴火や噴石の脅威、火山ガスの発生と、悪条件の中で適切に活動を行い、救助にあたってくれた方々に感謝するのみです。

いつ自然災害が起きるか分からない今、各所で防災訓練が行われていますが、日頃から各自の心構えが必要だと思いを強くしました。